

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

ナブテスコオートモーティブ株式会社

村山市にあるナブテスコオートモーティブ株式会社の秋久保将さん取材しました！
秋久保さんは、山形大学工学部電気電子工学科を卒業した後、2018年に入社しました。
現在は、製造部生産技術課に勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

生産技術課では、組立設備の製造、設備が故障したときの修理、改造を行います。

私は現在、設備の改造をメインで行っています。当社の主な製品はトラック等商用車のブレーキチャンバーですが、新しいモデルが出るたびに、既存設備をその製品に対応するために改造します。



——電気電子工学科のご出身ですが、現在の業務に活かしていることはありますか？

大学での専攻と一部重なるところもありますが、大学では電気といっても机の上で電圧値とか電流値の値を求めるといったことが中心で、実際にどう使うかということはありませんでした。業務に活かしているかといわれれば、実際はそれほどでもないですね。

——大学の専攻と全く違うということですが、今の業務に必要な知識はどのように学んだのでしょうか？



OJT というシステムがあって、2年間先輩社員についていて教えてもらいます。1年目は先輩が設備修理をするときについて行ったり、修理するうえでどこが悪かったのか教えてもらったりが中心でした。2年目には、先輩に教えてもらいながら設備を1台作りました。

——最初に作った設備はどのようなものですか？

円形のケースを3点で加締め※というものです。それはもともと手動でやっていたのですが、自動機でやろうということになり、先輩から「そんなに難しくないから、やってみたら」と言われてやってみました。機械設計、電気設計、空圧回路設計、プログラムと基本的には全部自分で作りました。

※加締め：カシメ。金属の塑性変形を利用して接合する方法。

——初めてやってみていかがでしたか？

最初は、難しくてわからないところも多くて大変でしたね。まあ今もそうなんです（笑）。先輩に聞けば教えてくれるので、教えてもらいながらなんとかやったという感じですね。

(2) 職場編

——ナプテスコオートモーティブに就職を決めた理由を教えてください。

就活を始めて一番早く決まったから、というのが正直なところ（笑）。そもそもなぜ受けるのを決めたかという、大学でやった合同企業説明会に行ったときに2人の先輩社員が来ていたのですが、その2人の雰囲気が悪くなかったからです。人間関係がいい感じの会社なのかなと思って、面接を受けることに決めました。



——入社してから想像していたのと違うなと感じたことはありますか？

実際、会社の雰囲気は悪くないと思います。私の性格に合っているのだと思いますが、誰にでも自由に言いたいことが言えるのでいいと思っています。

——あまり上下関係が厳しくないのですか？

厳しくないわけではないのですが(笑)。上だとか下だとかをあまり気にする必要がないということです。意見を言ったら、みんなが聞いてくれるのでやりやすいと思います。

——入社して良かったことと大変だったことを教えてください。

大変なのは、設備をつくるために幅広い知識が必要なところですね。今でも全然足りません。といっても、わからないことがあれば先輩が教えてくれますし、サポートもしてくれるので、自分一人だけでやる仕事というわけではありません。

良かったことは、課長や工場長など上の人にも意見を言えることです。「若手のくせに」みたいな雰囲気もなく、のびのびとやらせてもらっています(笑)。



——失敗したなと思うことはありますか？

失敗はいっぱいありますね…。ただ、生産技術課の仕事はミスをしてもある程度リカバーできることがあります。

逆に、自分で図面を書いて設備つくったり、改造したり、プログラムいじったりいろいろやってみて、その設備がきちんと動いたときにはやってよかったなと思います。

——これから、転勤はあり得るのですか？

横須賀に技術センターがあり、タイやインドに拠点がありますので、転勤の可能性はあります。私自身は、積極的に行きたいというわけではありませんが、そういう命令があれば「はい」という感じです。

(3) ある日の過ごし方編

●8:15 【業務開始】

ラジオ体操があります。その後に課のミーティングが10分ほどあります。

●8:30 【午前の業務】

ミーティング後自分の事務所に戻って、パソコンを立ち上げ、メールをチェックするまでが毎日のルーティンです。

その後、自分が担当している設備の改造を始めます。修理に呼ばれることもあるので、そのときは修理に行きます。



●12:00 【お昼休憩】

食堂で食べています。食堂のメニューは、月水金は中華麺、火木はそばうどん、他にはカレーライス・弁当などが提供されています。

●12:45 【午後の業務】

午前の続きをします。

●16:50 【退勤】

製造設備はラインが止まっているときに設置をするので、その作業があるときは残業になることもあります。

(4) むらやまでの暮らし編

——就職するなら地元の企業がいいと考えていたのですか？

わざわざ他県に行くよりは県内の方がいいなというのはありました。合同企業説明会に参加していた企業が、山形県内か東北が多かったというのもあります。



——村山地域で働く良さはありますか？

個人的な理由ですが、人混みが苦手なため、電車に乗りたくない、できれば個人空間（自家用車）で移動したいというのが希望でしたので、車で通勤できるという点では村山がいいですね。

——お休みの日はどのように過ごしていますか？

予定があれば外出しますが、何もなければ基本的に家にいます。

ラーメンが好きなので、たまに年が近い同僚とラーメンを食べに行くこともあります。最近行ったのは、村山市役所の前にできたシンチャンラーメンです。煮干しラーメンのお店です。

(5) まとめ編

——今後の目標はありますか？

今やっている仕事でもまだまだ知識や経験が足りないので、もうちょっとレベルアップできるようになりたいと思います。あとは業務の効率化ですね。無駄だと思う仕事を減らしていきたいです。

——これから就職活動をする人にアドバイスをお願いします。

私は就活で特別に何かを意識していたわけではありませんが、面接では言葉遣いには気を付けつつ「言いたいことを言おう」と決めていました。自分を作っていくよりも、素のままの自分をぶつけていったほうが入社した後にやりやすいと思います。

——総務課長の浦野さんにお伺いしたいのですが、働きやすい職場にするための意気込みをお願いします。



この山形工場ができて30年ですが、30年前の当時とはコミュニケーションや休憩の取り方などが当然変わってきています。

今プロジェクトを立ち上げていて、例えば食堂であれば、食事するだけでなくみんなが集まってくつろげるようなカフェテリア風にしようとか、皆さんが働きやすい環境を提供できるように総務のほうで考えているところです。他にも、高齢者

や障がい者の方なども働きやすい職場にしていくことなど工場長以下管理職が中心となって改善を進めています。

———ありがとうございます！

秋久保さんは就職活動の際にも、思ったことをそのまま言うと決めていたそうですが、今回のインタビューでもなんでも正直に答えてくださいました。人事担当の方にも意見をはっきりと仰っていて、若手でも意見を言える雰囲気会社だと感じました。山形大学の合同企業説明会に参加してその中から今の職場を選び、やりがいをもって働いているそうなので、身近にある説明会などに積極的に参加して自分に合った企業を探すことが大切だと学びました。



【インタビュアー：

山形大学理学部 奥谷友里加、人文社会科学部 大宮郷花、大学院社会文化システム研究科 杜東超】

ナブテスコオートモーティブ株式会社

★トラックとバスのブレーキで、安全・安心・快適な輸送システムに貢献します。

1937年日本で初めてトラックやバスなどの商用車用エアブレーキを開発して以来、当社は80年にわたり、商用車用エアブレーキシステムのパイオニアとして常に業界をリードしてまいりました。

私たちはこれからも、独自に培った世界に誇る技術力を糧に、さらなる飛躍に向けた挑戦を続けてまいります。

- ・所在地 山形県村山市金谷 5-1
(本社：東京都千代田区平河町 2-7-9 JA 共済ビル 6F)
- ・設立 平成 21 年 12 月
- ・従業員数 288 名 (男性 204 名、女性 84 名)
- ・URL <https://www.nabtesco-automotive.com/>

